

科目ナンバリング	科目名	教員名
	博物館展示論	後藤 知美

開講詳細			
開講キャンパス	開講時期	曜日時限	単位数
たまブラザー	2024年度集中、2025年度集中	集中講義	2単位

講義授業	
授業の実施形態	対面型授業
授業のテーマ	「自らの発見を、より適切に・効果的に共有するための博物館展示とは？」学芸員の仕事を展覧会や催し等、一過性の行事をとおして利用者に情報を共有する仕事として捉える人もいますが、そうした展覧会や催しを行うに至るには館や個人で行う調査・研究の成果の蓄積が欠かせません。どちらかというと気が長いお仕事が業務の大半を占めています。本講義では、「自分で調べたこと」をどうやって一般の方に伝えるのかという点を考えてもらいたと思います。
授業の内容	博物館法第二条は、同法内における「博物館」を「歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、併せてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関」としている。展示は、博物館にとって、利用者に日頃の活動の成果を伝える最大の機会である。そして、展示への利用者からの反応は、博物館の活動をさらに磨き上げ充実させるきっかけとなる。近年、博物館を取り巻く状況は大きく変化し、保存・収集、調査研究、教育・普及といった本来的機能に加え、地域振興や観光、社会的包摂、福祉といった地域課題への対応まで期待される等、その社会的役割は、複雑化・多様化している。本授業では、こうした社会情勢を踏まえつつ博物館展示について、理論的な枠組みから実践的な内容まで実際の展示を事例に取り上げつつ解説する。そして、展示を通して、自らの発見や伝えたいことを利用者により効果的に伝えるために何ができるのかを、受講生が主体的に考えるきっかけとする。
到達目標	知識・理解〉・展示を企画・運営する上で、必要となる作業とその流れ、注意すべき事項を理解する。・自分が観覧した博物館展示について、その企画者の趣旨や目的をきちんと理解できる。〈思考・判断〉今後、自分が取り組んでみたい展示企画とその趣旨を、具体的に説明できる。〈関心・意欲〉様々な博物館展示を実際に観覧し、その展示手法に学ぶ姿勢を見せる。

授業計画	
第1回	博物館における展示の役割 (1) 博物館展示とは何か「モノを飾って見せる」という行為は、博物館における展示に限った話ではなく、社会の様々なところで行われているものである。では、博物館における展示とはいったい何だろうか？その特徴と目的を、教員がこれまでに手掛けた展示を事例として解説する。  【事前学習 60分】 ⇒身近な「展示」を見つけて答えられるようにしておく  【事後学習 120分】 ⇒講義内容を振り返り整理しておく
第2回	博物館における展示の役割 (2) 展示の歴史と求められる役割 日本や世界における「展示」の歴史を概観した上で、近年、博物館に求められる役割が近年、変化を迎え、より複雑化・多様化していることを解説するとともに、変化のなかで生まれた新たな可能性についても指摘する。  【事前学習 60分】 ⇒興味関心がある博物館展示を見つけておき答えられるようにしておく  【事後学習 60分】 ⇒講義内容を振り返り、展示を見る上でのポイントを考える
第3回	展示事例からみる展示手法 (1) 実際の展示から学ぶ 日本国内における博物館での常設展示・企画展示（特別展示）を事例に、博物館展示で利用されている様々な展示手法について紹介する。物理的・企画的・予算的等、様々な制約を乗り越えつつ、より分かりやすく利用者に情報を伝え、利用者の興味・関心を喚起させるための工夫を解説する。  【事前学習 60分】 ⇒興味がある分野の展示図録を一読しておく  【事後学習 60分】 ⇒講義内容を振り返り、展示を観覧する上でのポイントを考える
第4回	展示事例からみる展示手法 (2) 実際の展示から学ぶ 引き続き、日本国内における博物館での常設展示・企画展示（特別展示）を事例に、博物館展示で利用されている様々な展示手法について紹介する。また、博物館以外の展示施設における展示の様子についても触れる。  【事前学習 60分】 ⇒図録の記載事項を整理しておく  【事後学習 60分】 ⇒講義内容を振り返り、展示を観覧する上でのポイントを考える
第5回	展示事例からみる展示手法 (3) 実際の展示から学ぶ (対面型) 引き続き、日本国内における博物館での常設展示・企画展示（特別展示）を事例に、博物館展示で利用されている様々な展示手法について紹介する。また、博物館以外の展示施設にお

	<p>ける展示の様子についても触れる。</p> <p><b>【事前学習 60分】</b> ⇒見学した展示や確認した図録、これまでの講義の内容を踏まえて、自分が企画したい展示のテーマを考える</p> <p><b>【事後学習 60分】</b> ⇒講義内容を振り返り自分が企画したい展示のテーマを固める</p>
第6回	<p>博物館展示を設計する（1）展示の企画立案 展示を企画するにあたっての一連の流れを概観する。博物館展示の設計は、企画（計画）段階、実施段階、修了段階の3段階に大別される。講義では、各段階における必要作業や注意事項について概説する。</p> <p><b>【事前学習 60分】</b> ⇒自分が企画した展示テーマの内容をクラスメートに説明できるように準備しておく</p> <p><b>【事後学習 60分】</b> ⇒講義内容を振り返りながら企画したい展示のテーマに関する書籍・図録を読んで情報収集を進める</p>
第7回	<p>博物館展示を設計する（2）展示の企画立案（対面型） 展示を企画するにあたっての一連の流れを概観する。博物館展示の設計は、企画（計画）段階、実施段階、修了段階の3段階に大別される。講義では、各段階における必要作業や注意事項について概説する。</p> <p><b>【事前学習 60分】</b> ⇒講義内容を振り返りながら企画したい展示のテーマに関する書籍・図録を読んで情報収集を進める</p> <p><b>【事後学習 60分】</b> ⇒講義内容を振り返りながら企画したい展示のテーマに関する書籍・図録を読んで情報収集を進める</p>
第8回	<p>博物館展示を設計する（1）展示のデザイン 展示を実施するにあたって注意を必要とする様々な構成要素について取り上げる。具体的には、資料の劣化を防ぐための展示環境の整備・管理や、企画や展示資料に適した視角的効果をもたらす演出方法、宣伝・広報等について基本事項を解説する。</p> <p><b>【事前学習 60分】</b> ⇒講義内容を振り返りながら企画したい展示のテーマに関する書籍・図録を読んで情報収集を進める</p> <p><b>【事後学習 60分】</b> ⇒講義内容を振り返りながら企画したい展示のテーマに関する書籍・図録を読んで情報収集を進める</p>
第9回	<p>博物館展示を設計する（2）展示のデザイン 展示を実施するにあたって注意を必要とする様々な構成要素について取り上げる。具体的には、資料の劣化を防ぐための展示環境の整備・管理や、企画や展示資料に適した視角的効果をもたらす演出方法、宣伝・広報等について基本事項を解説する。</p> <p><b>【事前学習 60分】</b> ⇒講義内容を振り返りながら企画したい展示のテーマに関する書籍・図録を読んで情報収集を進める</p> <p><b>【事後学習 60分】</b> ⇒講義内容を振り返りながら企画したい展示のテーマに関する書籍・図録を読んで情報収集を進める</p>
第10回	<p>博物館展示を設計する（3）利用者への働きかけ 博物館展示では、利用者の展示への理解を促進するため、様々な手段を用いることが一般的である。担当学芸員による展示解説やワークショップ、ワークシートや関連企画等、展示以外の手段の効果的な併用方法について解説する。</p> <p><b>【事前学習 60分】</b> ⇒講義内容を振り返りながら企画したい展示のテーマに関する書籍・図録を読んで情報収集を進める</p> <p><b>【事後学習 60分】</b> ⇒情報収集や講義内容を踏まえて展示企画の内容を固めて展示企画書の作成に着手する</p>
第11回	<p>グループワーク これまでの講義の内容を踏まえ、講義期間中に自分が考えたテーマ、あるいは興味関心がある資料を取り上げ、各自、展示企画を立案する。企画検討は、講義中に設定したグループで協力しながら進める。受講生は自らの企画案をグループ内に共有し、同じグループのメンバーからの指摘や助言を参考に、自らの企画案を完成させる。なお、グループメンバーに対する指摘や助言の内容も評価に反映させるため、積極的にグループワークに取り組むこと。</p> <p><b>【事前学習 60分】</b> ⇒展示企画書の内容をクラスメートに説明できるようにする</p> <p><b>【事後学習 60分】</b> ⇒質問や意見の内容を踏まえて展示企画書の内容をさらに深める</p>
第12回	<p>博物館展示の活用とその効果（1）博物館と学び 博物館展示は、資料と人（利用者、博物館職員）の相互作用によってその機能を発揮する。そのため、展示による学習は、学校教育やその他社会教育施設とはまた異なる効果を持つものである。博物館における学習の特性と、学校やその他社会教育施設との連携の可能性について解説する。</p> <p><b>【事前学習 60分】</b> ⇒講義内容を踏まえて展示企画書を作成する</p> <p><b>【事後学習 60分】</b> ⇒講義内容を踏まえて展示企画書を作成する</p>
第13回	<p>博物館展示の活用とその効果（2）開かれる博物館 博物館には、すべての人に開かれた（学びの）場であるために、絶えず新しい取り組みや試みが入り入れられている。それらの代表的な取り組みに関する紹介をとおして、これからの博物館に必要なことを考えてもらう。</p> <p><b>【事前学習 60分】</b></p>

	⇒講義内容を踏まえて展示企画書を作成する 【事後学習 60分】 ⇒講義内容を踏まえて展示企画書を作成する
第14回	レポート構想発表 第11回のグループワークや講義内容を踏まえて提出予定の展示企画書の内容について構想を発表する。  【事前学習 60分】 ⇒講義内容を踏まえて展示企画書を作成する 【事後学習 60分】 ⇒講義内容を踏まえて展示企画書を作成する
第15回	講義のまとめ 講義全体のまとめを行い、改めて博物館の社会的役割に展示という活動がどのように寄与できるのかについて考える。  【事前学習 60分】 ⇒講義内容を振り返りレポートを作成する。 【事後学習 60分】 ⇒講義内容を振り返りレポートを作成する。
授業計画の説明	パワーポイントを用いた講義を基本的な形式にする。講義最終日に講義内容を踏まえたレポート課題を課す予定である。
授業時間外の学習方法	・講義には、前回の講義内容を復習してのぞむこと ・講義中、関心を覚えた事項については図書館で関連書籍を読むこと ・機会を作って積極的に興味関心がある博物館や展覧会を見学すること
受講に関するアドバイス	講義資料は原則として配布しない（また、使用したスライドの撮影も許可しない）。そのため、ポイントとなる用語や講義全体の内容について、講義中に各自メモをきちんと取ること。

成績評価の方法・基準		
評価方法	割合	評価基準
レポート	70%	講義中に考えてもらった展示企画をレポートとして提出してもらい、到達目標に達しているかを確認する。なお、同時にグループワークや講義中に他受講生へ行った指摘や助言内容についても評価の対象とする。
平常点	30%	講義中のやり取りやグループワークへの参加姿勢等から講義の理解度、授業姿勢をみる。

注意事項	・教室に入ってきたときにはきちんと挨拶をすること ・講義開始時間となったら私語を慎むこと ・講義内容はもちろん、講義や課題に関する説明はきちんと聞きメモをとること ・不明の点があったらその都度、確認すること 上記の4点の事項について留意してください。
------	---

教科書・参考文献等					
教科書					
特になし					
参考文献					
ISBN番号	書名	著者名	出版社	備考	K-aiser
978-4872944945	博物館の仕事	8人の学芸員	岩田書院		<a href="#">著書検索</a>
978-4872943580	学芸員の仕事	神奈川県博物館協会	岩田書院		<a href="#">著書検索</a>
978-4061565319	博物館展示論	黒沢浩	講談社		<a href="#">著書検索</a>
参考文献コメント					
特定の教科書、解説書は指定しないが、参考文献を列挙した。これ以外に、各博物館が刊行している展示図録のうち、関心があるテーマのものについて目を通しておくこと。					